

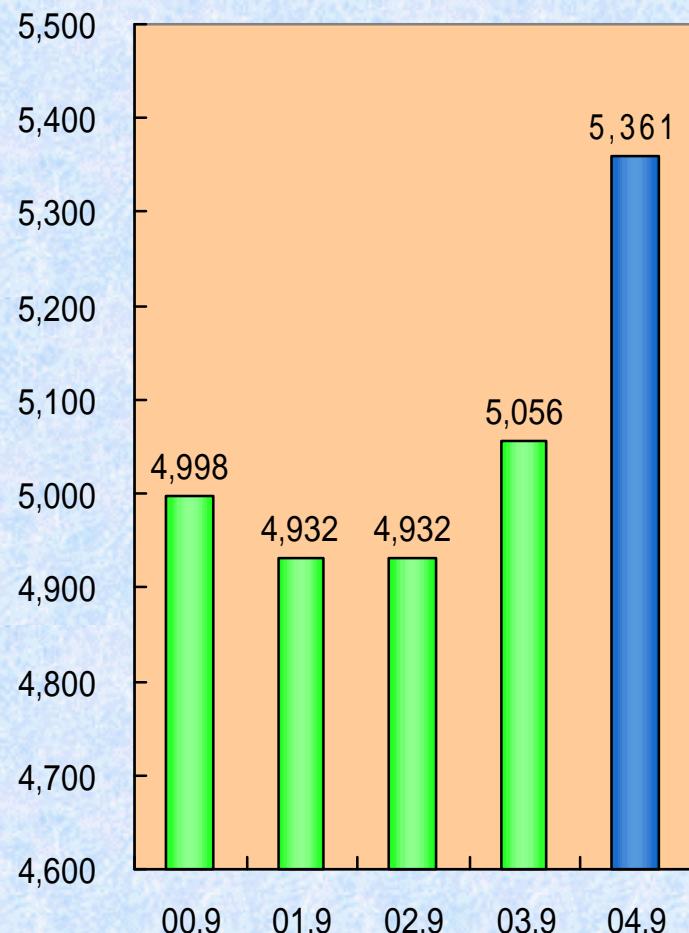
# 1. 2004年9月期の業績

ISC

## 連 結

(単位 :億円 )

売上高推移 (単位 :億円 )



億円未満は切り捨てて表示しております

	当 期	前 期	前 期 比 (%)
売 上 高	5,361	5,056	106.0%
売上総利益	524	502	104.3%
営業利益	54	52	103.7%
経常利益	61	59	104.3%
当期純利益	33	31	106.3%

- ・大手量販店、リージョナルスーパーとの取引増加
- ・大手百貨店の仕入先集約による取引増加
- ・CVSとの取引増加
- ・業務用卸、外食産業との取引増加

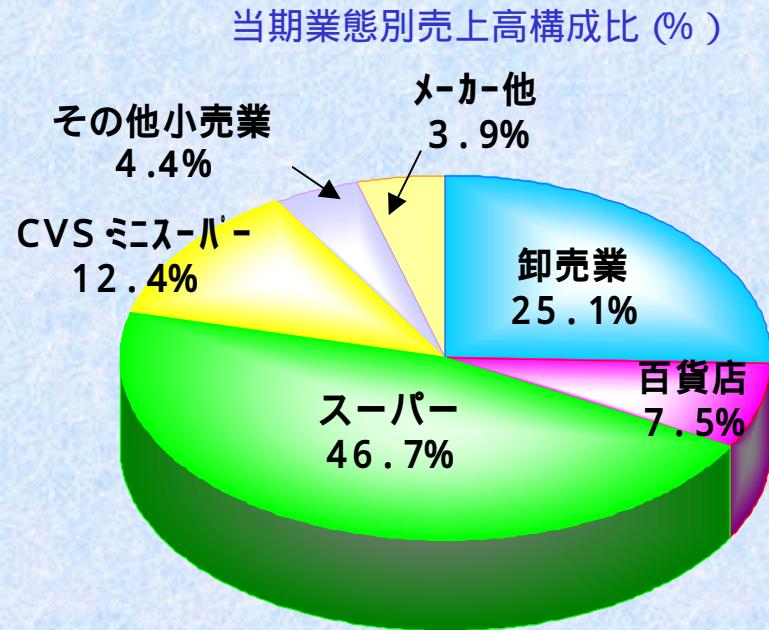
↓  
增收増益を達成、  
酒類売上高、初の2000億円台達成

## 2 (1).業態別売上高構成比 (億円、% )

ISC

(単位:億円)

### 連 結



	当 期	前 期	前期比 (%)
卸売業	1,346	1,326	101.4%
百貨店	403	380	106.1%
スーパー	2,505	2,320	107.9%
CVSミニスーパー	663	627	105.6%
その他小売業	232	211	109.6%
メー-カ-他	211	188	111.8%
合 計	5,361	5,056	106.0%

- ・大手量販店、地域スーパーとの取引増加
- ・大手百貨店の仕入先集約による取引増
- ・CVSとの取引増加
- ・物流収入手数料の増加

### 対前年増減額】

卸売業 +19、百貨店 +23、スーパー +184  
 CVSミニスーパー +35、その他小売業 +20  
 メー-カ-他 +22 (内、物収 +13 )

億円未満は切り捨てて表示しております

## 2 (2) . 【伊藤忠食品 売上レビュー】

ISC

連 結

### スーパー売上高

(単位 :億円 )



億円未満は切り捨てて表示しております

	当 期	前 期	対前年増減額 (%)
売上高	2,505	2,320	184 (107.9%)

4期前 (00.9)と当期 (04.9)との比較

売上高 : 1,923      2,505 +581

業態別構成比 : 38.5%      46.7% +8.2

#### (当期業界環境)

販売単価の下落、消費税総額表示による割高感によるマイナス要因等、引き続き厳しい状況の中ではあったものの…

当社では、

主力取引先の新規出店増加

地域スーパーとの取引増加

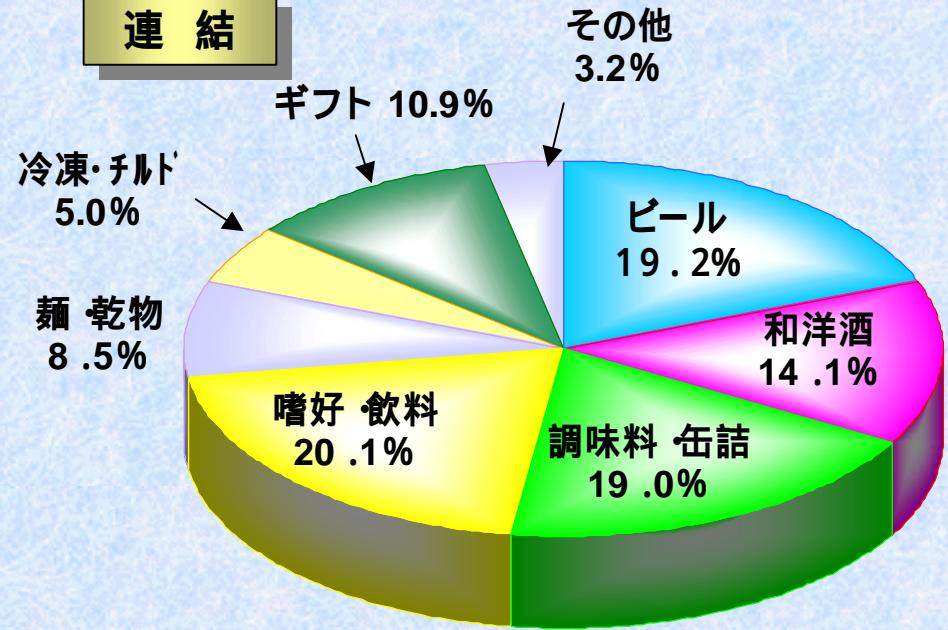
等により今期売上高 **2500億円**を達成。

### 3 (1) .商品分類別売上高構成比(億円、%)

ISC

(単位:億円)

連 結



#### 販売単価 物量(C/s)の推移 前期比%

	(当期)		(前期)	
	物量	単価	物量	単価
酒	111.5%	101.7%	106.6%	99.2%
食品	107.9%	95.4%	100.5%	98.3%
計	109.0%	98.2%	102.2%	99.3%

個別 総売上ベース、返品・値引を除く

	当 期	前 期	対前年増減額 (%)
ビール	1,026	910	116 (112.8%)
和洋酒	754	662	92 (113.9%)
調味料 缶詰	1,017	1,033	16 (98.5%)
嗜好 飲料	1,077	1,013	64 (106.3%)
麺・乾物	457	454	2 (100.5%)
冷凍 チルド	269	271	2 (99.1%)
ギフト	586	560	26 (104.7%)
その他	171	149	21 (114.6%)
合 計	5,361	5,056	305 (106.0%)

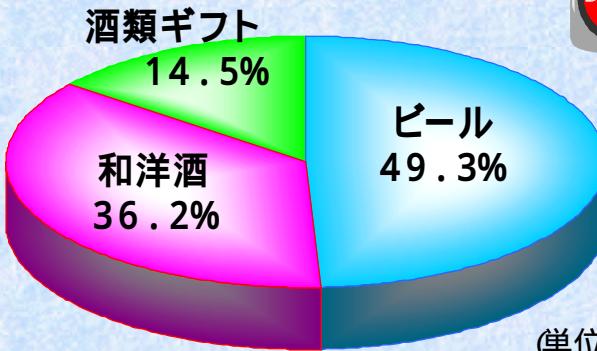
億円未満は切り捨てて表示しております

## 3 (2) . 伊藤忠食品 売上レビュー】

ISC

連 結

### 酒 類 売上高



	当 期	前 期	対前年増減額 (%)
ビール	1,026	910	116 (112.8%)
和洋酒	754	662	92 (113.9%)
酒類ギフト	300	285	15 (105.4%)
合 計	2,081	1,857	223 (112.1%)

外食・業務用卸との酒類取引増加

主力取引先の新規出店、地域スーパーと取引増加

全国的な焼酎ブーム

億円未満は切り捨てて表示しております

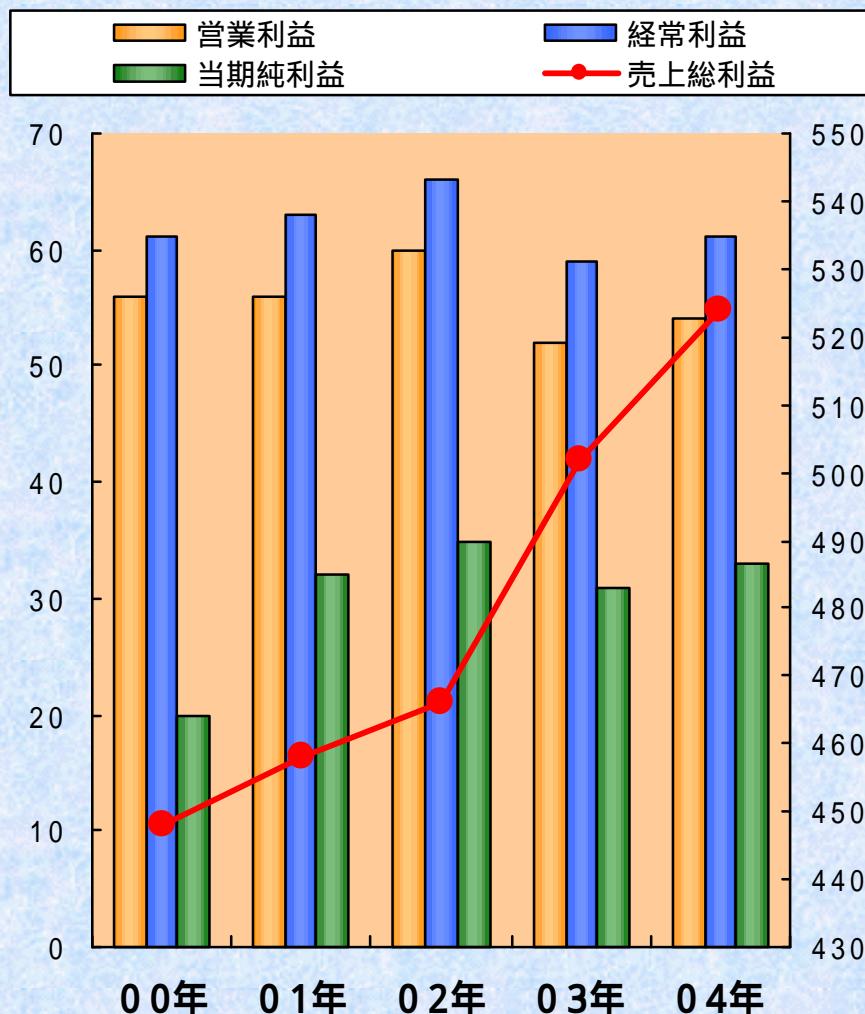
## 4. 伊藤忠食品 利益レビュー】

ISC

### 連 結

(単位 :億円 )

業績推移 (単位 :億円 )



	当 期	前 期	対前年増減額 (%)
売上総利益	524	502	21 (104.3%)
営業利益	54	52	1 (103.7%)
経常利益	61	59	2 (104.3%)
当期純利益	33	31	1 (106.3%)

#### 売上総利益】

物流収入手数料の増加 +13 (115 129)

売上増加に伴う売上総利益の増加

#### 営業利益・経常利益】

物流費の増加

管理費の削減

#### 当期純利益】

投資有価証券売却益

億円未満は切り捨てて表示しております

## 5 (1). 東扇島物流センター (東急ストア様向け)

ISC

### センター概要

敷地面積 : 60,177m<sup>2</sup> (約 18,200坪)(全体)

延床面積 : 23,722m<sup>2</sup> (約 7,175坪)(DC)

年間通過額 : 約 550億円 (在庫 + 通過)

取扱商品 : (DC 在庫型) 加工食品・酒類  
ギフト

(TC 通過型) 米・菓子・衣料  
生活用品 他

稼動開始 : 平成 16年9月 1日 (DCスタート)

- 店舗在庫の削減
- 発注から納品までの時間短縮
- カテゴリー納品や配送計画の見直しによる店舗オペレーションの改善
- 検品業務の合理化、伝票レス化、納品・未納情報の早期化といった物流 EDIへの取組み
- LCS(Labor control system)導入による庫内業務の生産性向上

## 5 (2) . 川崎ドライ物流センター (ユニー様向け)

ISC

### センター概要

所在地 : 川崎市川崎区東扇島

延床面積 : 約 1,690坪

年間通過額 : 約 75億円

取扱商品 : (DC) 加工食品・酒類  
(TC) 菓子

稼動開始 : 平成 16年 6月 21日

- 店舗在庫の削減、品切れ防止
- カテゴリー別カートラック納品
- 店舗スピード検品
- 納品車輌台数の削減
- 商品の鮮度管理徹底

## 6. 重点施策

ISC

食品の売上増加

スーパー惣菜への取組強化

外食 業務店との食材取引拡大

温度管理物流の整備

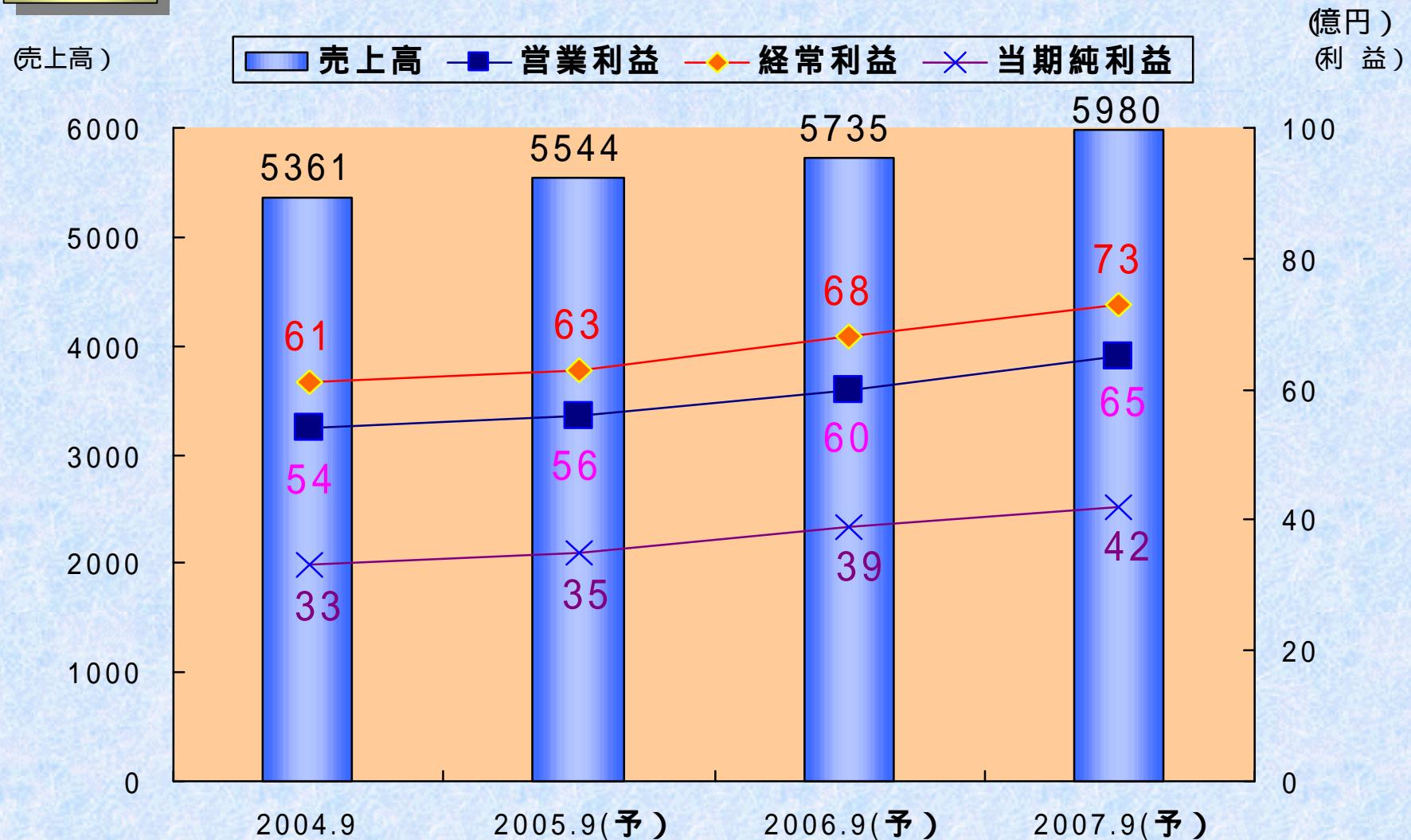
リージョナルスーパーとの取引拡大継続

物流費・管理費の削減

## 7.中期目標

ISC

### 連 結



億円未満は切り捨てて表示しております